財政事情の公表について（公告）

新潟県柏崎市「財政事情」の作成及び公表に関する条例（昭和２３年条例第１３号）及び新潟県柏崎市公営企業の設置等に関する条例（昭和４１年条例第４２号）の規定に基づき、令和３年（２０２１年）４月１日から令和３年（２０２１年）９月３０日までの期間における財政事情及び公営企業の業務の状況を別紙のとおり公表する。

令和３年（２０２１年）１２月１日

柏崎市副市長　西　巻　康　之

令和３年度（２０２１年度）上半期（４月～９月）の財政事情

●各会計別予算の執行状況

区分 / 会計名		予算の状況 ４月以降の補正額 ９月末現計予算額	収入の状況〔A〕 ４月以降の収入額 （９月末収入済額）	支出の状況〔B〕 ４月以降の支出額 （９月末支出済額）	差引 〔A〕－〔B〕
一般会計		2億2,761万円 500億 485万円	216億8,232万円	191億9,672万円	24億8,560万円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	174万円 83億5,968万円	33億3,565万円	32億5,514万円	8,051万円
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	210万円 3億5,885万円	5,171万円	1億4,398万円	△9,227万円
	土地取得事業	0万円 1億1,889万円	390万円	229万円	161万円
	墓園事業	0万円 886万円	326万円	484万円	△158万円
	介護保険	1億2,399万円 95億6,693万円	38億5,012万円	38億2,612万円	2,400万円
	後期高齢者医療	0万円 10億1,427万円	3億8,244万円	3億9,616万円	△1,373万円
合計		3億5,544万円 694億3,232万円	293億 939万円	268億2,525万円	24億8,414万円

※端数整理の関係で、合計・差引が計算と合わない場合があります。

●一般会計の概要

当初予算４７５億円でスタートした令和３年度（２０２１年度）の一般会計は、９月までの補正予算で２億２，７６１万円を増額しましたので、令和２年度（２０２０年度）からの繰越事業費２２億７，７２３万円を含めた９月末までの現計予算額は、５００億４８５万円となりました。

令和３年（２０２１年）９月末までの実際の収入（収入済額）は２１６億８，２３２万円で、現計予算額に対する割合は４３．４％になっています。一方、実際の支出（支出済額）は１９１億９，６７２万円で、現計予算額に対する割合（執行率）は３８．４％となっています。

●市税負担の状況

一般会計歳入予算のうち、市民の皆さまに負担していただく市民税や固定資産税などの市税は、１４３億６，２９６万円で、歳入全体の２８．７％を占めており、市政運営のための大切な財源になっています。令和３年（２０２１年）９月末までに市民の皆さんから納めていただいた収入済額は、８６億１，４９３万円、収納率は６０．０％となっています。

	１人当たり	１世帯当たり
現計予算額 （５００億　　４８５万円）	６２０，４４６円	１，４３３，３７９円
市税負担額 （１４３億６，２９６万円）	１７８，２１２円	４１１，７１１円

（令和３年（２０２１年）９月末現在　人口：８０，５９５人、世帯数：３４，８８６世帯）

●財産の状況

主な市有財産の９月末現在の残高等は、次のとおりです。

	９月末の残高等	備　考	
		行政財産	普通財産
土　地	１，９４７万7，６０４㎡	１，０９２万9，７４２㎡	８５４万7，８６２㎡
建　物	４４万4，５３３㎡	４２万9，８３４㎡	1万4，６９９㎡
有価証券	５，４６３万円		
出資金	3億5，８８９万円		
基　金	１５０億4，４９３万円	１人当たり	１世帯当たり
		１８６，６７３円	４３１，２６０円

（令和３年（２０２１年）９月末現在　人口：８０，５９５人、世帯数：３４，８８６世帯）

※端数整理の関係で、合計が計算と合わない場合があります。

※基金とは、特定の目的のために積み立てる貯金のようなものです。

●市債の状況

主に建設的な事業を行うときに、国や金融機関などから借り入れる資金を「市債」といいます。これは、「公債費」として長期にわたって返済していきます。一般会計における令和３年度（２０２１年度）年度上半期（4月から９月まで）の借入は、ありません。また、２２億9，４３７万円（元金２１億9，４２２万円、利子1億１５万円）を市債の返済のために公債費として支出しました。

９月末現在における借入残高は、次のとおりです。

会　計　名	９月末現在の借入残高	１人当たり	１世帯当たり
一　般　会　計	４５３億9，９００万円	５６３，２９８円	１，３０１，３５３円

（令和３年（２０２１年）９月末現在　人口：８０，５９５人、世帯数：３４，８８６世帯）

●一時借入金の状況

年度途中では、支出に充てる資金が不足することがあります。このような資金不足の場合に、銀行などから一時的に借り入れて、年度内に返済するものを「一時借入金」といいます。令和３年度（２０２１年度）上半期（４月から９月まで）における一時借入金は、ありません。

また、一時借入金のほかに市が持つ基金を一時的に支払資金などに融通すること（これを「基金の繰替運用」といいます。）により資金不足を補っています。

●令和２年度（２０２０年度）決算の概要

令和２年度（２０２０年度）の決算の概要については、広報かしわざき１１月号をご覧ください。

令和３（２０２１）年度予算執行状況

（令和３（２０２１）年９月３０日現在）

令和３（２０２１）年度予算の執行状況は、次のとおりです。
なお、９月末までの補正及び令和２（２０２０）年度からの繰越を含めています。

◎ 水 道 事 業

収益的収入（経常収支関係）				資本的収入（建設投資関係）			
科　目	予 算 額	執行済額	執行率	科　目	予 算 額	執行済額	執行率
給 水 収 益	21億7,393万円	11億1,898万円	51.5%	企 業 債	12億5,200万円	0万円	0.0%
補 助 金	2億5,716万円	1億1,824万円	46.0%	補 助 金	3,035万円	0万円	0.0%
そ の 他	6億9,269万円	3,323万円	4.8%	そ の 他	1億8,713万円	4,698万円	25.1%
計	31億2,378万円	12億7,045万円	40.7%	計	14億6,948万円	4,698万円	3.2%

収益的支出（経常収支関係）				資本的支出（建設投資関係）			
科　目	予 算 額	執行済額	執行率	科　目	予 算 額	執行済額	執行率
経 常 経 費	27億9,353万円	2億9,339万円	10.5%	建設改良費	16億6,983万円	2億6,472万円	15.9%
支 払 利 息	2億　854万円	1億　455万円	50.1%	企業債償還金	8億4,549万円	4億2,062万円	49.7%
そ の 他	771万円	593万円	76.9%	計	25億1,532万円	6億8,534万円	27.2%
計	30億　978万円	4億　387万円	13.4%				

◎ 下 水 道 事 業

収益的収入（経常収支関係）				資本的収入（建設投資関係）			
科　目	予 算 額	執行済額	執行率	科　目	予 算 額	執行済額	執行率
下水道使用料	15億8,255万円	7億6,655万円	48.4%	企 業 債	13億8,420万円	0万円	0.0%
雨水負担金	3億7,141万円	1億8,571万円	50.0%	補 助 金	8億2,774万円	1億1,974万円	14.5%
補 助 金	13億4,398万円	6億7,912万円	50.5%	そ の 他	9,667万円	909万円	9.4%
そ の 他	19億4,093万円	448万円	0.2%	計	23億　861万円	1億2,883万円	5.6%
計	52億3,887万円	16億3,586万円	31.2%				

収益的支出（経常収支関係）				資本的支出（建設投資関係）			
科　目	予 算 額	執行済額	執行率	科　目	予 算 額	執行済額	執行率
経 常 経 費	46億7,448万円	3億6,015万円	7.7%	建設改良費	15億9,153万円	5億7,429万円	36.1%
支 払 利 息	3億8,175万円	1億9,594万円	51.3%	企業債償還金	25億5,222万円	12億2,146万円	47.9%
そ の 他	552万円	287万円	52.0%	計	41億4,375万円	17億9,575万円	43.3%
計	50億6,175万円	5億5,896万円	11.0%				

バランスシート

（令和３（２０２１）年９月３０日現在）

水道・下水道事業の財政状態は、次のとおりです。

※工業用水道事業は、令和２（２０２０）年度をもって廃止しました。

資産の部		負債・資本の部	
科目	水道	科目	水道
固定資産	422億8,080万円	企業債（固定＋流動）	152億 316万円
現金・預金	27億4,567万円	引当金	8億 674万円
未収金	1億5,151万円	未払金	237万円
未収金貸倒引当金	△80万円	預り金	3,818万円
貯蔵品	954万円	その他流動負債	1億 732万円
前払金	1,135万円	長期前受金	279億4,353万円
その他流動資産	2,537万円	長期前受金収益化累計額	△148億8,217万円
		資本金	140億2,394万円
		資本剰余金	1億6,306万円
		利益剰余金	18億1,731万円
計	452億2,344万円	計	452億2,344万円

資産の部		負債・資本の部	
科目	下水道	科目	下水道
固定資産	889億3,431万円	企業債（固定＋流動）	251億5,261万円
現金・預金	8億 264万円	引当金	8億2,879万円
未収金	9,791万円	未払金	0万円
未収金貸倒引当金	△57万円	預り金	2,348万円
貯蔵品	0万円	その他流動負債	7,195万円
前払金	605万円	長期前受金	784億7,718万円
その他流動資産	6,075万円	長期前受金収益化累計額	△269億6,755万円
開発費	0万円	資本金	49億1,307万円
		資本剰余金	52億9,600万円
		利益剰余金	21億 556万円
計	899億 109万円	計	899億 109万円

水道・下水道の有収水量

（４月～９月まで）

☆水道有収水量は、５６３万㎥で前年度と比較して０．８万㎥減（０．１％減）でした。

☆下水道有収水量は、４４０万㎥で前年度と比較して５．２万㎥減（１．１７％減）でした。

公営企業の業務状況

公営企業は、市町村が企業として経営する事業であり、経営の主な財源は、ご利用いただいている皆さんの使用料等によって運営しています。

当市では、水道事業、下水道事業が該当します。

令和２（2020）年度
決 算 概 要

◎水 道 事 業

・資産 450億1,099万円
・負債 299億4,790万円
・資本 150億6,309万円
・企業債残額
156億2,378万円
・給水人口 85,298人
・給水戸数 42,078戸
・年間有収水量
1,111万m³
・一日平均有収水量
30,438m³

収益的収入・支出（経常収支関係）

	科目	金額
収入	給水収益	20億 376万円
	補助金	2億1,054万円
	その他	6億4,797万円
	計	28億6,227万円
支出	経常経費	25億5,186万円
	支払利息	2億1,812万円
	その他	245万円
	計	27億7,243万円
当年度純利益		8,984万円

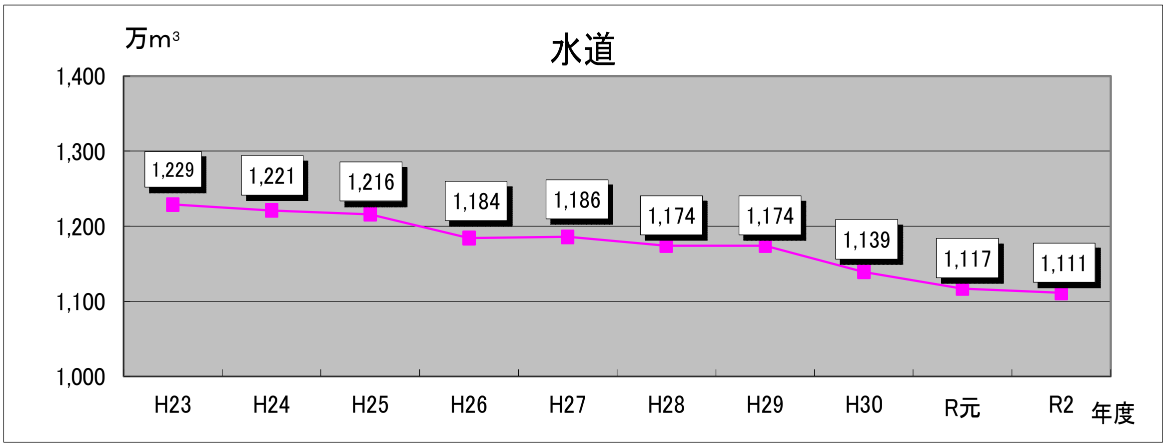
資本的収入・支出（建設投資関係）

	科目	金額
収入	企業債	11億4,000万円
	補助金	3,750万円
	その他	1億1,695万円
	計	12億9,445万円
支出	建設改良費	14億5,145万円
	企業債償還金	8億2,305万円
	計	22億7,450万円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補填しました。

有収水量の推移

過去１０年間の水道有収水量は、次のとおりです。



◎下水道事業

・資産　906億9,712万円
・負債　794億1,695万円
・資本　112億8,017万円
・企業債残額
263億7,408万円
・水洗化人口　72,911人
・水洗化世帯数 31,335戸
・年間有収水量
880万㎥
・一日平均有収水量
24,116㎥

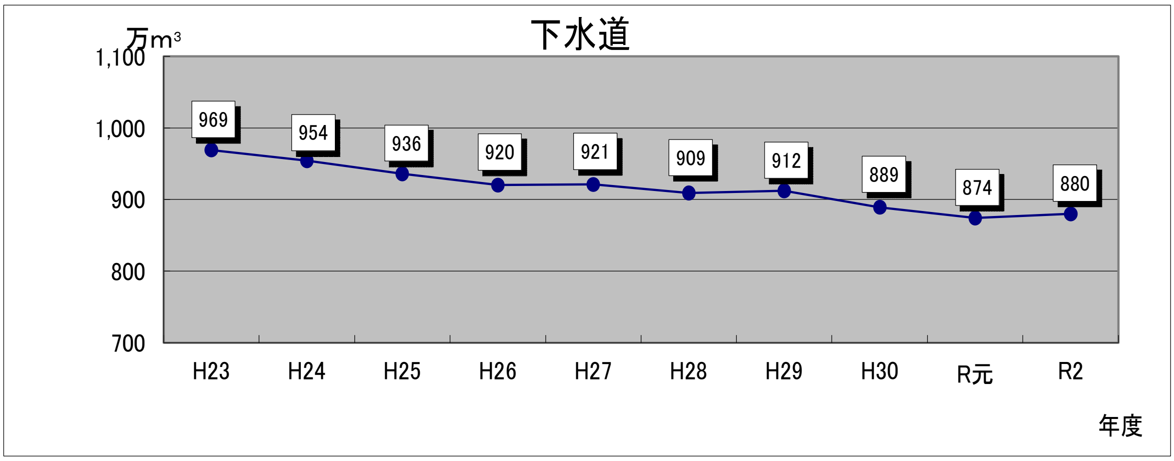
収益的収入・支出（経常収支関係）

	科目	金額
収入	下水道使用料	13億2,321万円
	雨水負担金	2億3,070万円
	補助金	14億2,300万円
	その他	20億6,997万円
	計	50億4,688万円
支出	経常経費	45億6,669万円
	支払利息	4億2,911万円
	その他	115万円
	計	49億9,695万円
当年度純利益		4,993万円

資本的収入・支出（建設投資関係）

	科目	金額
収入	企業債	12億8,555万円
	補助金	10億6,999万円
	その他	5,364万円
	計	24億　918万円
支出	建設改良費	13億6,773万円
	企業債償還金	27億4,253万円
	計	41億1,026万円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補塡しました。

有収水量の推移

過去１０年間の下水道の有収水量は、次のとおりです。